二鶴堂通信

Nikakudo News

06 2018

■岡山市北区今8丁目2-28 TEL.086-246-1710㈹ FAX.086-246-1708

「難しく考えずに」

この度の平成30年7月豪雨により亡くなられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
私の故郷・新見でも悲しいことに一部で災害が起きた。復興できることは何とかしたい。しかし、業種・職種・勤務地 様々考えると、できることは少ない。でも何かできることはないか・・・そんな時に卒業した所属団体からボランティアの募集があった。毎日はできないが、ちょっとでも、と思い、スケジュールを調整し、参加した。
ボランティア先で同級生と再会。「ゴンタ(私の子どもの頃のあだ名)久しぶりじゃの。おめぇ役に立つんか?無理して来んでもええぞ」「まぁええがな。できることだけするわ。」彼はその所属団体をかつてやめているが、今回別の場所でそれを聞いて参加したらしい。やめているので、しがらみとか考えてしまいそうだが・・「何とかしてぇと思うんじゃけ、できそうならやりゃあええがな。難しく考える必要ねぇぞ。ゴンタもそれできたんじゃろ?」そう言われればそうだ。彼の答えは簡潔だ。
何とかしたいのはみんな同じ。でも、できることをできるだけ。
少しでも復興が進むように。頑張りましょう!岡山県!

今月のお題
this month title

夏休みの思い出

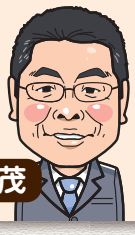
♪新しい朝が来た希望の朝だ…♪

55年前の夏休み、一日は6時半のNHKラジオ体操の歌で始まりました。
午前中は勉強の時間、遊ぶのは午後からと、学校の決まりでした。
プールの無い時代でしたから、川で泳いだり、魚採りをしたり夕方まで夢中で遊んでいました。
宿題は、夏休みの友、図画、工作、習字、観察日記…、いっぱいありましたが早く済ませた記憶はありません。午前中、何をしとったんだか?
猫の手を借りて、ラストスパートの一週間でした。
♪絵日記つけてた夏休み♪
花火を買ってた夏休み…♪
吉田拓郎のLPを集めていたこの頃は高校生。部活とバイトの夏休み。思い出づくりに、友だちと単車でツーリング(2~3泊)を楽しんだ夏でした。

●営業所長 川口洋志

山育ちの夏休み

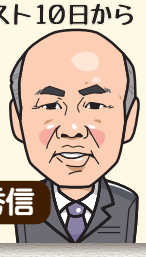
小学校時代の夏休みと言えば、もっぱら昆虫採集!クワガタはたくさんおり、ミヤマクワガタの「じじ」「ばば」など、中でも地元で「ノエ」と呼ばれていた/コギリクワガタが一番人気!角がウェーブしていて、どのクワガタよりもかっこいい!なかなか採れないこともあり、希少価値バツグン!虹色のタマムシや蝉取りもしょっちゅう!汗だくになって、探しまわったものだ。
自然に鍛えられていたが、今の体は見る影もない。山育ちならではの夏休みだった。
川やプールは、非常に遠い存在なので、泳ぎはイマイチ・・・。



●営業主任 小川 茂

夏休みの思い出

小学生の頃は、毎年父の同僚家族と沙美海水浴場に行きヤドカリを採って喜んでいましたが、今思うとかなり透明度の低い海水浴でしたが一番の思い出です。
また夜は友だちと近くの発電所の街灯の下へクワガタを取りに行、子供だけで夜な夜な出かけて怒られたこともありました。
遊んでばかりだったので夏休みの宿題はできていません(ー_ー:)ラスト10日から1週間で宿題を済ませていました。なかでも一番苦労したのが読書感想文でした。
いまだに読書は苦手です(T_T)



●営業 川内秀信

大八車を押して

小学生の夏休みは毎年、男の子みんなで製材所へ大八車を引いて行くことから始まった。そこで、大八車に木枠をつけておが屑を貰って帰るのである。片道約800mある道程を二往復すれば土俵の中の砂のできあがり。そして、翌日が村の観音様の祭で宵祭りに相撲大会が盛大に開かれる。六十軒ほどの集落に三十人ほどの小学生がおり、子供のいない家からもみんな参加しての大盛り上がり。結びの一番を終えると観音様の鐘が鳴らされ、勝った者、負けた者それぞれの思いを胸に家路についた。

●営業 西田利宏

中高一貫男子校の夏

勉強合宿のため学年全員で毎年1週間ほど和歌山の奥地に連れて行かれた。合宿中に楽しい思い出はほぼないが、だからこそ、皆が必死に娯楽を追求していた。
「禁則品」のマンガ、ゲーム、男子高校生が好きな本(お察しください)があらゆる経路で流通し、狭いベッドの中で聞く雑音まじりの深夜ラジオが癒しだった。なお、携帯はもちろん圏外のため(ワンセグもまだない)、時計以下の扱いだった。
どの学年にも、夜中に片道1時間かけて最寄りのコンビニまで「脱走」した猛者がいたが、田舎の品揃えという現実と、さらにばれた場合を考えると、あまりのハイリスクローリターンに2回実行する者はいなかったという…。

●営業 横内 明